



合言葉は「触れる」、「知る」、「創る」!

子どもが実際に体験したことを通して自己を成長させていく生活科、自ら設定した課題を自ら考えた方法で解決していく総合的学習の理念や構造を学びます。子どもたちは、実際に「触れる」ことを通して、人・自然・社会のこと、そして自分自身とそれらとのつながりを「知る」ことができます。その経験を基に、自分や他者・自然・社会の未来を「創る」ようになります。本専修では、そのような子どもの生活経験を見取り、伸ばしていく教員の資質・能力を養成しています。



小学生と大学探検



おもちゃ博士としての出張授業



模擬授業に向けての話し合い

4年間の学び

1年次では、理論・実践の両面から生活科や総合的な学習の時間の授業イメージを具体的にもつことを重視します。また、学習者目線で「思いや願いの実現過程」や「探究的な課題解決の過程」を体感し、その学びの重要性を実感したり、授業計画を立てるための基礎的な知識・技能を身に付けたりします。

2年次では、単元構想をしたり、それに基づいて実践を行ったりする経験によって生じる各自の課題について、授業観察を通して探究します。また、カリキュラム理論を学ぶ中で授業実践をより広い視野の中で捉え直します。

3年次では、これまでの経験を踏まえ、教材の在り方について理解を図るとともに、教材研究の方法を身に付けます。

4年次では、各自の問題意識に基づき研究テーマを設定して考究していき、生活科・総合的な学習の時間の専門家としての力量を形成していきます。

取得できる免許

〔卒業要件に含める免許状〕

小学校教諭一種免許状

〔取得を優先して薦める免許状〕

中学校教諭二種免許状^(※)

◎特別支援学校教諭二種免許状

〔所定の科目履修で取得可能とする免許状〕

中学校教諭一種免許状(中学校二種の教科)

◎幼稚園教諭二種免許状

※ 入学手続き時に行う意向調査(中学校教諭二種免許状の希望教科(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語))に基づき、大学が決定します。

できる限り希望に沿うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することなどにより、第1希望の教科を履修できない場合があります。

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 生活・総合専修3年
愛知県立津島高等学校出身



子どもたち一人一人の多様な答えに、
どう寄り添うか。

答えがないから、面白い。

生活科の魅力は「答えがない」ことです。何に興味を持ち、どう考えるかは子ども主体で、それぞれの発見が正解と捉えることもできます。その多様な答えにどう寄り添うのかを考える学びはとても奥深く、実際に自分が指導案を作成した授業で子どもたちの多様な反応を見たときの感動は格別でした。本専修では小学校での実習など、遊びや現地体験を通して子どもと関わる機会が多いことが特徴です。将来、子どもたちの個性にしっかり目を向けられるよう、一つ一つの学びの機会を大切にしていきたいと思っています。

■ 2024年 2年次後期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等国語科 教育法A		学校体験活動Ⅰ	中等理科 教育法CⅡ	学校教育における ICT活用
2時限	初等英語科 教育法A	生活科 カリキュラム論	学校体験活動Ⅰ		
3時限	地学Ⅱ	生活科・総合的 学習授業論	この時間を使って 「学校体験活動Ⅰ」 の事後指導や ガイダンスを行う ことがあります。	化学実験	
4時限		道德教育の 理論と方法		地学実験	化学Ⅱ
5時限	キャリア デザインⅡ				

*上記時間割で示した授業科目以外に遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「情報の活用と管理」「学校保健・学校安全」があります。